

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

5月25日(水曜日) (第638号)(毎月25日発行) 平成23年(2011年)

行 所

社団 **全国木材組合連合会**

URL http://www.zenmoku.jp

定価 年500円

『全木連時報』の購読料は年会費に含まれています

震災復興に向けて特別決議を採択

全木協連

捧げた。

東日本大震災見舞金御 礼

きましては、会員各位の絶大なご んできた東日本大震災見舞金につ 会員の皆様にお願いして取り組 | かった岩手、宮城、福島、 |した。この見舞金は、被害の大き | 茨城の各県木連にお届けしました。 青森、

協力により多くの募金が集まりま

開会。 全木連の総会は、 午後一 時 から

を行った。 べたあと、 開会のことばを樋口副会長が述 並木会長が別項の挨拶

官から祝辞を受け、 の来賓を紹介。 つづいて、来賓の皆川林野庁長 司会から出席

全 木 連 通 常

総

会

より、多くの失われた命に黙祷を 開会に先立ち、三月の大震災に 岩手県の小野田富男理事長、 われ、そして、 があった。 た。これを受け、並木会長から、 田宗弘会長から被災地の報告が行 県の高橋義宣理事長、 一致結束して特別決議の実現に取 文を読み上げ、 組むと、 業界としての決意表明 全員拍手で決議し 高橋副会長が宣言 福島県の朝

第一 並木会長が議長となり、

この後、 議事は、 議事に入った。

号議案の平成二十二年度事

て緊急に特別決議の提案があり、

この後、

東日本大震災に関連し

あった。この中で総会の議事は順調に進み、

所定の議

案を滞りなく審議のうえ承認・決定して閉会した。

興に取組むことを確認するなど重みのある開会状況で

て別項の特別決議を宣言決議し、一致結束して震災復

議事の前に

「東日本大震災」からの復興に向け

として出席し祝辞が述べられた。特に、全木連の総会 官をはじめ関係幹部、また、林業関係団体幹部が来賓 が出席して開催された。総会には林野庁の皆川芳嗣長 総会、第三十九回木退共通常総会が五月十

第七十回全木連通常総会、

第五十一

回全木協連通

旦

東京

冨 面

景況調査

面

全木協総会開催

木退共総

会開催

全木連会長総会挨

面

全木連総会開催

特別決議

次

港区のメルパルク東京を会場に、全国から会員多数

復旧・復興に不可欠な木材・

計画決定の件、 報告し、原案のとおり承認された。 藤晴秀監事が監事を代表して監査 成二十二年度収支決算承認の件に 業報告承認の件、 十三年度収支予算決定の件、第五 ついては、 第三号議案平成二十三年度事業 事務局説明のうえ、 第四号議案平成二 第二号議案の平

された。 局説明のうえ、 入金最高限度額決定の件は、 原案のとおり決定 事務

男氏を選任した。 治氏(全天連)にかわり海老原光 役員の補充では、 監事の竹内福

とばを述べて閉会した。 震災見舞金について報告。 最後に、田中副会長が閉会のこ 次いで、事務局より、 東日本大

号議案平成二十三年度会費決定の

第六号議案平成二十三年度借

決 議

特 別 宣

取組んでいかなければならない。 その復旧・復興のため国を挙げて めて深刻な事態に直面しており、 災者そしてわが国の経済社会は極 本大震災」により、 木材は、大震災の復旧・復興の 未曾有の大災害となった 被災地域、 東日 ②被災工場の破損機械施設等の 整理除去、修復や再建のための

を宣言する。 に全力を挙げて取組んでいくこと 関連の復旧・復興のため、会員の 林業木材・建築関係団体と連携協 供給を図る重要な責任を担っている。 災害復旧工事などに不可欠な資材 ための仮設住宅や住宅等建築物、 力し、木材の需給安定、木材産業 本日ここに、国、関係行政機関、 であり、 (知、行動力を結集して次の事項 社団法人全国木材組合連合会は、 木材業界はその安定的な 3

木材関係事業者に対して、 **木質資材の需給・価格安定など** 木材関連業界挙げて取組む。 原発事故に伴う被害 その に取組む。 社団法人

大震災、

事故関連の損害の補償 円滑な処理の支援、さらに原発 含め全面支援対策の実現に取組む。 復旧・復興のために間接被害も 被災工場の原木・木材製品等の ①事業・生活の資金繰り支援、

復旧等に不可欠な木材・木質資 機械施設整備・運転資金等の支援 受け入等の支援 保等のために、それらの輸送 材の確実な供給と雇用の維持確 木材チップ等の滞留を解消し、 ③多大な工場被害による原木・

材関係事業者の早急な復旧支援 のため、関連する住宅資材・木 (4)住宅建築関連資材の需給安定 木材利用の維持拡大のための 住宅、公共・商工業施設等へ 支援対策の充実等

|平成二十三年五月十一日 全国木材組合連合会

か

ケガ・病気入院などの備えに

全 木 協 連 通 常 総 会

が述べて始まり、まず、 時四十分に開会した。 会議は、開会の辞を横田副会長 全木協連の通常総会は、 吉条会長 午後三

次長から祝辞が述べられた。 の挨拶があった。 次いで、来賓の林野庁沼田正俊

ら説明のうえ、 び損失処理案承認の件を事務局か 進め、①平成二十二年度事業報告 承認の件②平成二十二年度決算及 議事は、 吉条会長が議長となり 長浦愼 一監事が代 のとおり決定した。

括で事務局から説明した後、 役員報酬決定の件については、 の件⑥平成二十三年度借入金最高 うえ、原案のとおり決定した。 限度額決定の件⑦平成二十三年度 の件⑤平成二十三年度賦課金決定 計画決定の件を事務局から説明の 次いで、 ④平成二十三年度収支予算決定 ③平成二十三年度事業

表して監査報告を行い、承認した。 を述べて終了した。 最後に、坂東副会長が閉会の

木 退 共 通 常 総 会

となり行われた。 五分に開会した。 木退共の総会は、 並木会長が議長 午後二時四十

決算承認の件は、事務局説明の後、 告承認の件②平成二十二年度収支 議案の①平成二十二年度事業報

山口武夫監事が代表して監査報告 |決定した。

を行い、承認した。 び会費決定の件については、 |定の件⑤平成二十三年度入会金及 局から説明のうえ、 の件④平成二十三年度収支予算決 ③平成二十三年度事業計

来賓祝辞のポイン ずれも震災復興が第 Ĺ

街づくりも考えられる。海岸林は、 惨な状況である。木材業界には、 木材をフル活用したコンパクトな 津波の減衰効果があったのではな 宮城にも足をはこんだ。大変悲 皆川林野庁長官

化については、 考えていきたい。公共建築物木造 補正予算化した。 とは違う。工場施設の復旧費用等 基準が出された。 は違ってくるのではないか。 被災地に行き、テレビで見るの 昨日、木造の技術 沼田林野庁次長 政策も今までと 海岸林の再生も 原案のとおり 画決定 事務 企業経営に安心を提供します

従業員のために

経営者のために

中型グループ

総合保障プラン

おかげさまで35年 中型グループ

全木連グループの各種保障制度

総合賠償 補償制度 第3者への事故対策に

任意労災 保障制度

木退共

労働災害への対策に

従業員の退職金の準備に

全国木材協同組合連合会

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3 TEL 03-3580-3215(代)

— 2 —

全木連総会での並木会長挨拶



| 拶申し上げます。 七十回総会の開催に当たり一言挨 社団法人全国木材組合連合会第

お礼申し上げます。 列席を賜りありがとうございます。 辻副理事長はじめ多くの友好団体 独立行政法人農林漁業信用基金の 皆様方には、ご多用にもかかわら の皆様方には公務ご多端の中、ご します。また、林野庁の皆川長官、 遠路ご参集いただき感謝いた

を挙げて救援、 あまりにも甚大な被害で、今、国 者の方々に心からのお見舞いを申 被災地域そして被災木材産業関係 る犠牲者の方々のご冥福をお祈り しますとともに、多くの被災者、 し上げます。原発事故関連も含め、 先ずもって、東日本大震災によ 復旧等の対策が全 一一つは「新成長戦略」における森 一で大きな動き・成果がありました。 など活動を強化してきました。特 の拡充や業界自身の意欲的取組み 質強化などについて、関係諸対策 用拡大、木材産業の業況改善・体 に木材利用に関する制度・政策面

は、

東日本大震災の影響により当

良い機会でもあります。景気動向

◎支援を希望する方は、都道府県

林務担当課のほか、

林野庁木材

◎国は、

被災工場・素材生産地か

動を実施する覚悟であります。 木材事業者の応急復旧や本格再建 資材である木材の需給安定、被災 み、とりわけ復旧・復興の重要な しても、今後とも会員各位と力を | りまとめ、 期の復旧・復興を心から念願いた 力を挙げて取組まれています。 対策などの緊急課題に積極的な活 合わせてこの問題の対応に取り組 す次第であります。全木連としま 早

利用への挑戦で木材産業の創造的 | 共施設・商工業施設等への木材利 |の一年の間、我々は「新たな木材|と動いていくためには、木材業界 |も木材需要の拡大であります。こ | 急かつ最大の課題は、何といって |ございました。我々木材業界の緊 |見受けられましたものの、全体と |以降に国産材を中心として需要増、 しては引続き厳しい事業環境下に 再興」の実現に向けて、住宅や公 価格の上昇など一部明るい兆しも %)と低調にとどまりました。夏 り八十一万三千戸(前年比一〇三

低迷・不透明感、雇用不安等によ|りましても、 昨年の新設住宅着工戸数は景気の 木材業界の動向でございますが、 | 興対策の拡充が大幅に強化されて を明らかにしました。そしてまた、 材利用の拡大などの施策展開方向 率的な加工・流通体制づくり、木 業の再生に向けた改革の姿」を取 率五十%を目標として「森林・林 |ます。林野庁は十一月に木材自給 います。 行されました。住宅建築関係にあ に与野党一致して成立し十月に施 促進に関する法律」が、昨年五月 共建築物等における木材の利用の 木材業界が長年切望してきた「公 森林施業の集約化や効 地域材利用の住宅振

|材製品供給、JAS・乾燥材の供 自身の、コスト、品質に優れた木 しかし制度・施策が「活き活き」 感謝申し上げる次第であります。 政府関係者、国会議員の皆様方に 維持発展に資するものであります。 るものであり、そして木材業界の | 材利用の理解促進の前進につなが こうした制度・施策の拡充は木

(林野庁関連支援策)

復

第

づけで、国家プロジェクトに森林 ルギーの普及拡大などを掲げてい ・林業再生プランや再生可能エネ 林業・木材利用の明確な位置 | 面厳しいことが予想されます | 業の明日の展望を切り拓いていく |木材・国産材の利用の高まりを現 |必要があります。 |実の木材消費に結びつけ、 でいく考えであります。 ても全力を挙げて諸活動に取組ん 全木連としまし 木材産

はありますが、十分なるご審議を お願いいたします。 |三年事業計画と収支予算が主たる 議題であります。限られた時間で の事業報告と収支決算、平成二十 本日の会議は、 平成二十二年度

そして会員各位のご繁栄とお集ま | げ、冒頭のご挨拶と致します。 りの皆様のご健勝をご祈念申し上 金のご協力にお礼を申し上げます。 難うございました。 有

くことが不可欠であります。本年 などに、限りない努力を重ねてい 材利用の理解をさらに深化できる は、国際森林年とされており、 連携促進による木材利用提案活動 給、一般消費者・建築関係者との 木 ◎国は、 旧·整備 ①木材加工流通施設等の廃棄・ ◎仮設住宅等への復旧資材確保の 整備 【木材加工流通施設の廃棄・復旧 ます。 開始できる場合に、 整備に必要な経費を支援します。 造工場等の施設で、早期に稼働 ために、被災した製材・合板製 事業費の1/2を補助し 廃棄・復旧・

不材産業の皆様 一次補正予算事業のご案内~

産業課(電話〇三 - 六七四四

で被災され

· 合板

◎一次補正予算に五十三億円 二二九四)にお問い合わせくだ 数)を計上して実施します。 內

②原木の流通コスト等支援

◎仮設住宅等への復旧資材用 【流通コスト支援】 経費を支援します。 た地域の原木等を被災していな 原木や、被災工場に出荷してい 材確保のため、被災工場の在庫 い工場に出荷する場合等の流通

木材産業界独自 金共済制度

加入のおす す

紐木材産業退職金共済会

最後に、会員各位の大震災見無

景況調査=全木協 ら製材で)支援)仮設住 流出 支援を希望する方は、 国な て定額助成します 次補 **産業課** 九 確保の -務担 は、 23年4月分集計表 ()内は実数 巡 を希 上 木材の処理コスト支援] 〔流通部門〕 モニター数84 回答数55 回収率65% 有者等 して実施 から流 当課のほ 工 宅等への 正 に 望する ため、 当月の状況 予算に六億円 場等までの お問 話〇三-販 売 増加11% (6) 変わらず41% (22) 減少48% (26) 仕 量 増加24% (13) 変わらず25% (14) 減少51% (28) い合わせください た行う場 震災により 心ます 上昇51% (28) 復旧資材 |方 1 か、 販売価格 変わらず44% (24) 下降 5% (3) した木材 は、 仕入価格 上昇73% (40) 変わらず23% (13) 下降 4% (2) 六七四 距 来月の見通し を 谷 野 離に 都 븝 増加30% (17) 変わらず35% (19) 減少35% (19) 用の に必要 補助 / 庁木材 道府県 远 増加27% (15) 変わらず38% (21) 減少35% (19) 渞 什 量 製材 応じ 口 数 販売価格 上昇45% (25) 変わらず50%(27) 下降 5% (3) 府 j県 仕入価格 上昇60% (33) 変わらず33% (18) 下降 7% (4) ③災害復旧 ◎融資枠は三十 ◎林業者・木材産業者 3か月後相場予想 弱含み 強含み 保ち合い 金につ どの Ŧī. 支援を希望する 受けた森林 33% (15) 67% (30) 0% (2) 業課 同 証 務 八 南洋材 2% (1) 合わ 48% (20) 50% (21) 復 補 人で借りることができます。 \bigcirc 組 上して実施 担 北 洋 材 51% (22) 47% (20) 2% (1) 合連 実質無利子・ 当課 11 旧に必要な資金や運 正予算に六億円 にお問 電 て、 国 産 材 48% (24) 46% (23) 6% (3) 関係資金利子助 せ 話 63% (27) 32% (14) 5% (2) 建 材 合会 0 日 林道・ ・五億円です ほ <u>خ</u> 本政 心します。 増 変わらず 減 小 方は、 加 <u>H</u>. 乾燥材取引の か、 合わせください 厢度 24% (12) 76% (39) 0% (0) 六七四 無担保 (策金融 〔製造部門〕 林 モニター数106 回答数63 回収率59% 話 が、 言業施設な 全国 お問 当月の状況 野庁木材 内数 被害を 成 増加32% (20) 四 売 変わらず32% (20) 減少36% (23) **松**公庫 海業 転資 木 増加33% (21) 変わらず43% (27) 減少24% (15) 仕 合 無 販売価格 上昇14% (9) 変わらず78% (49) 下降 8% (5) 仕 入 価 格 上昇30%(19) 変わらず57% (36) 下降13%(8) **④**東 ◎保証 0 ◎支援を希望する方は、 来月の見涌し)林業 復旧 金に 業信用基金 を受けることができます。 金 て実施しま 変わらず46% (29) 増加21% (13) 売 減少33% (21) 次補正 次補正予算に から、 日 料 増加24% (15) 変わらず43% (27) 減少33% (21) つい 枠は百 者・ に取 五. 無 本大震災復旧 販売価格 上昇17% (11) 変わらず73% (46) 下降10% (6) 料 Ŧī. 上昇25% (16) 変わらず62% (39) 下降13% (8) 仕 入 価 格 で 施 予 て、 h 八十二 します 算に九 担 組 <u>H.</u> (電 材 00% 弱含み 3か月後相場予想 強含み 保ち合い 独) むため 達業者 に 10% (3) 話 農林漁業信用 Ħ. 米 材 48% (14) 42% (12) 一億円です。 洋 55% (12) 南 材 36% (8) 9% (2) お 林業信用 十 〇三一三二九 億 巡円を計· 洋 材 52% (12) 48% (11) 0% (0)四 間 の債務保 保 に必要な資 独) 41% (22) 玉 産 材 39% (21) 20% (11) 証 億 震災 農林 人 円 合 プレカットの動向 を 受注後、加工ま での待ち時間 1ヵ月以内 1ヵ月以上 1ヵ月 わ 保 上 保 渔

『東日本大震災復旧緊急保証』 の受付が始まりました。

この度の東日本大震災により被害を受けられた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

14% (2)

86% (12)

震災による復旧のための緊急保証として、他の資金とは別に基金から100%保証が 受けられます。

- ◎ 地震・津波により直接罹災された方の復旧に必要な運転資金・設備資金
- ◎ 主要販売先などの罹災により間接的に被害を受けた方に係る資金繰り安定化のために 必要な運転資金
- ◎ 震災復興に係る仮設住宅など資材供給の円滑化のために必要な運転資金・設備資金 詳しくは基金までお尋ね下さい

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

独立行政法人農林漁業信用基

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号(コープビル11階) TEL: 03(3294)5585 FAX: 03(3294)5595 URL: http://www.affcf.com

